



Cisco DNA Spaces SDK の統合

この章では、Cisco DNA Spaces ソフトウェア開発キット（SDK）の統合に関する情報を提供します。

- [Cisco Spaces SDK の統合](#) (1 ページ)
- [Cisco Spaces の統合](#) (1 ページ)

Cisco Spaces SDK の統合

Cisco Spaces ソフトウェア開発キット（SDK）は、OpenRoaming テクノロジーを活用して、ユーザーによる操作を必要とせずに、シームレスかつ安全にユーザーを Wi-Fi ネットワークに接続します。Cisco Spaces SDK により、iOS または Android アプリケーションの開発者は、バックエンドシステムで検証できる任意の ID を使用して iOS および Android デバイスを設定できます。また、Cisco Spaces SDK を使用すると、開発者は、iOS および Android の通知フレームワークを介して、ユーザーに関する詳細情報を追加し、デバイス上でユーザーと直接関わり合うことができます。

SDK 設定セクションには、[メニュー (Menu)] アイコン(☰) > [設定 (Configure)] > [Cisco Spaces SDK] からアクセスできます。これにより、ネイティブアプリ (iOS および Android) を Cisco Spaces に登録できます。

Cisco Spaces の統合

Cisco Spaces ソフトウェア開発キット（SDK）は、iOS プラットフォームと Android プラットフォームに対応する、プラットフォームに依存しない SDK であり、Cisco Spaces の顧客は、これを使用して、アプリケーションがモバイルデバイスで OpenRoaming ユーザープロファイルを提供および管理できるようにします。詳細については、Cisco Spaces [SDK 開発者資料](#)を参照してください。

始める前に

Google による API キーベースの機能の廃止に伴い、Google Cloud Messaging (GCM) を介して Firebase JSON を使用する新しいメソッドが Cisco Spaces ソフトウェア開発キット (SDK) (**Cisco Spaces ダッシュボード** > **[設定 (Configure)]** > **[Cisco Spaces SDK]**) に導入されました。

このリリース以前は、Cisco Spaces で API キーを設定する必要がありましたが、現在は Firebase JSON に変更されています。

Cisco Spaces はこれを利用して、SDK を使用して Android デバイスでプッシュ通知をトリガーします。

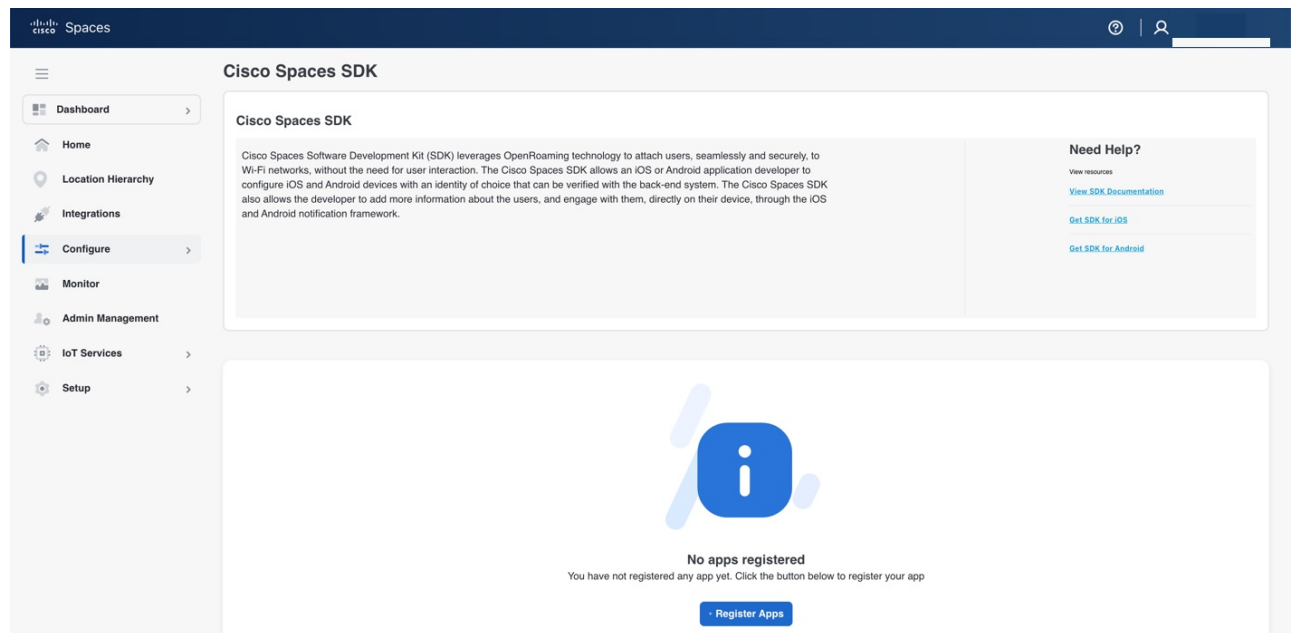
手順

ステップ 1 Cisco Spaces にログインします。

Cisco Spaces [ホーム (Home)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 左上隅にある [メニュー (Menu)] アイコン (☰) をクリックして、[設定 (Configure)] > [Cisco Spaces SDK] を選択します。

図 1: Cisco Spaces SDK



[Cisco Spaces SDK] ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 [Register App] をクリックします。

ステップ 4 新しいアプリケーションのプラットフォームを選択するには、[iOS]、[Android] チェックボックスのいずれか、あるいはその両方をオンにします。

両方のプラットフォームを選択すると、後続のウィンドウに両方のプラットフォームのパラメータが表示されます。

ステップ 5 [Next] をクリックします。

新しいアプリケーションを正常に登録するには、次のセクションに情報を入力します。

- アプリの登録
- プロファイルの設定
- プッシュ通知
- 認証

図 2: アプリケーションの登録セクション

ステップ 6 [アプリケーションの登録 (Register App)] セクションで、次のように入力します。

- [App Name] : アプリケーションの名前を入力します。
- **バンドル ID (Bundle Identifier)** : iOS プラットフォームでアプリケーションを識別するバンドル ID (バンドル識別文字列) を入力します。

(注)

すべての iOS アプリケーションが機能するにはバンドル ID が必要であり、開発者が App Store で公開する場合は一意である必要があります。バンドル ID の形式は、`domain.your-company.app-name` です。

- [Package Name] : Android アプリを識別するための一意のパッケージ名を入力します。

(注)

アプリのパッケージ名の形式は、`domain.your-company.app-name` です。ただし、任意の名前を入力することを選択できます。

ステップ 7 [Next] をクリックします。

ステップ 8 [プロファイルの設定 (Configure Profile)] セクションで、以下を入力します。

- **表示されるオペレータ名 (Displayed Operator Name)** : 有効な識別子を入力してください。この名前は、ユーザーの Android または iOS デバイスで Wi-Fi SSID 名として表示されます。
- **ドメイン (Domain)** : プロファイルの一意のドメイン名を入力します。
 - ドメイン名はオープンローミング (OpenRoaming) アプリケーションで使用できます。詳細については、「[ネットワークコントローラの設定](#)」を参照してください。
 - このドメイン名は、コントローラの設定に追加する必要があります。
 - 複数のアプリケーションがある場合は、各アプリケーションに一意のドメイン名が必要です。
- **ローミングコンソーシアムOI (Roaming Consortium OIs)** : [ローミングコンソーシアムOI (Roaming Consortium OIs)] ドロップダウンリストから、ローミングコンソーシアム組織 (RCO) 識別子の配列の横にあるチェックボックスをオンにします。これは任意です。

ステップ 9 プッシュ通知を有効にするには、[Enable Push Notification for iOS] チェックボックスをオンにします。

- a) iOS アプリ ID を入力します。
- b) [Upload をクリックして、APNS P12 と証明書を検索、アップロードします。
- c) APNS 証明書のパスワードを入力します。

ステップ 10 Android のプッシュ通知を有効にするには、[Enable Push Notification for Android] チェックボックスをオンにします。

- a) Android アプリ ID を入力します。
- b) API キーを入力します。

ステップ 11 [Next] をクリックします。

ステップ 12 新しいモバイルアプリのユーザー識別として Apple サインインをサポートするには、[Authentication] セクションの [Enable Apple Sign In] にチェックを付けます。

- a) [Enter Client ID] フィールドに、Apple アカウントのサインインクライアント ID を入力します。
- b) [秘密鍵を入力 (Enter Secret Key)] フィールドに、Apple アカウントの秘密鍵を入力します。

ステップ 13 新しいモバイルアプリのユーザー識別として Google サインインをサポートするには、[Authentication] セクションの [Enable Google Sign In] にチェックを付けます。

- a) [Enter Client ID] フィールドに、Google アカウントのサインインクライアント ID を入力します。
- b) [秘密鍵を入力 (Enter Secret Key)] フィールドに、Google アカウントの秘密鍵を入力します。

ステップ 14 [アプリケーションの登録 (Register App)] をクリックして、アプリケーションの登録を完了します。登録されているアプリケーションが表示されます。

図 3: 登録済み **Android** および **iOS** アプリケーション

The screenshot displays a list of three registered applications in the Cisco Spaces SDK interface. Each application card includes the following information:

- Android:** Status: Registered, Push Notification Disabled. API Key of Android field is populated with a key. WiFi Profile: Configured. View Configurations link is present.
- IOS_Test_App:** Status: Registered, Push Notification: Disabled. API Key of iOS field is empty. WiFi Profile: Configured. View Configurations link is present.
- Android_Test_App:** Status: Registered, Push Notification Disabled. API Key of Android field is empty. WiFi Profile: Configured. View Configurations link is present.

次の操作を実行できます。

- [設定の表示 (View Configurations)] をクリックして、アプリケーションの設定の詳細を表示できます。
- [削除 (Delete)] アイコンをクリックして、登録済みのアプリケーションを削除できます。

ステップ 15 (任意) [Edit] をクリックして、iOS および Android プラットフォームのプッシュ通知を更新します。

ステップ 16 (任意) [Update] をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。